

## 2024 社会福祉表彰（知事表彰）受賞者の概要

### （信州ねんりんピック「文化・芸術交流大会」での表彰者）

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名 (団体名) 住所 (所在地)	主な功績等
(公財) 長野県長寿社会 開発センター 賛助会活動関係	<small>たかだ たけし</small> <b>高田 武</b> (北安曇郡松川村)	<p>大北地区賛助会会長として、地区賛助会及び松川グループの会員をまとめ自らが先頭に立ち、組織の活性化と社会参加活動の推進に尽力した。また、大北支部事業の活動へ積極的に参加し、地区賛助会のPRを積極的に行い、シニア大生の賛助会加入の促進に貢献した。</p> <p>またボランティア活動としてはざかけ米収穫作業、学校野外活動の交通安全サポート等を行い、公的機関と連携して賛助会の地域交流を促進している。</p>
(公財) 長野県長寿社会 開発センター 賛助会活動関係	<small>あらい ただし</small> <b>荒井 公</b> (長野市)	<p>平成25年4月に剣舞や詩吟をする仲間が集まり、賛助会グループ「さつき会」を立ち上げた。メンバーの高齢化やコロナ禍での活動自粛等によりグループは令和5年3月で解散となったが、立ち上げから約10年にわたり、高齢者施設を訪問し、吟に合わせた剣舞や詩舞、吟に合わせて書をする書道銀吟などの活動を積極的に行った。また地元小中学校や高齢者通所施設での書道ボランティアはじめ、地域・地区（特に公民館事業）のスポーツ大会の審判や運営等のボランティア活動など、個人での地域活動も積極的に行っている。</p>
(公財) 長野県長寿社会 開発センター 賛助会活動関係	<small>ぼくじゅかい</small> <b>墨寿会</b> (諏訪郡原村)	<p>平成2年6月に長野県老人大学生が主体となり、墨絵作品を制作する「墨寿会」を発足した。現在は会員7名で毎月1回諏訪市公民館にて活動している。コロナ禍でも月2回以上の活動を行っており、老人福祉施設5か所で墨絵指導に出向くなど、高齢者の趣味や学習の機会創出に努めている。作品は、入院患者の心の癒しとなるように病院等のロビーで展示したり、百貨店などで展示会を開くなどしている。また、展示会場での色紙販売により得た収益金を老人福祉施設に寄付するなど、様々な形で地域に貢献している。長寿社会開発センターが企画するタウンミーティング（出番を求める高齢者と高齢者を求める団体とのマッチングの場）や、シニア大学の講義「賛助会を知る」にもグループとして積極的に参加しており、センターが行う行事や企画に長年協力している。</p>